

日本共産党 森川ヤス工 議員



- ①介護認定者の障害者控除について
- ②生活が大変な母子家庭の暮らし応援

質問① 年金控除削減、老年者控除廃止、定率減税廃止等による増税、税控除削減廃止により介護保険料、利用料負担が増え苦しい生活をしいられる市民の暮らしを応援するため、介護認定者の障害者控除の活用を対象予定者に個別通知し、市民の暮らしを応援する親切な対応を求める。

答弁① 亀山市とも協議して対応していきたい。

質問② 母子家庭の児童扶養手当が削減されるとただちに暮らしが困難になります。生活へおし寄

せる困難を、①家賃補助②保育料補助③ファミリーサポートセンター利用料支援などの検討を求めます。また市営住宅の優先措置をもっと実効性あるものにすることや、学童保育運営委員会へ支援をしすべての学童保育所で、保育料の減額措置が受けられるよう求める。

答弁② 家賃や保育料、学童保育運営委員会への補助は現状では困難である。ファミリーサポートセンターの利用料は子育て支援策の一環として多方面から検討をしていきたい。市営住宅入居の優先措置については、住宅課と可否も含めて検討していきたい。

政友会 大杉 吉包 議員



- ①食料自給率について
- ②食の安全、安心について
- ③教育再生と食農教育について

質問① 2006年度の食料自給率が39%と13年振りに40%を割り自給率向上策が農政課題として急浮上している中、本市の対応は。

答弁① 本市の食料自給率は人口の増加もあり30%となっている。対策としては農産物直売所を支援、地域農業の活性化と地産地消を推進、集落営農組合設立支援、ふれあい農園関連施設をはかり米の食味向上、野菜については関係機関と連携を強化しながら振興に取り組んでいきたい。

質問② 中国産の農産物の安全性が問題となっており、日本に輸入された農産物からも農薬の違反が出ている。本市の実態と対応は。

答弁② 輸入食品については保健所等が監視指導を行っており平成18年度に18件の抜きとり検査を実施、その結果基準を上回る違反はでていない。

質問③ 豊かな心を育むという点で循環や命の大切さを伝える食農教育は有効と考えるが進捗状況は。

答弁③ 総合学習において米や野菜を作る体験学習を行っている学校は平成19年度は12校となっており実施校は年々増加傾向をたどっている。今後も学校や地域の実情に応じて食農をとり入れた食農推進に努めていく。

あくていぶ21 矢野 仁志 議員



- ①教職員の訴訟費用保険加入について
- ②保護者の要求要望の対応について
- ③中国産食材から農薬検出
- ④救急活動について

質問① 公務員が職務に関した行為が原因でトラブルに巻き込まれた際、弁護士費用などを補償しては。
答弁① 三重県学校生協が県内の教職員を対象に「教職員争訟(そうしょう)費用保険」を創設したことからこの制度について今後、周知をしたい。

質問② 要求要望で学校現場を混乱させる保護者「モンスターペアレント」について国が本格的に学校支援に乗り出す方針を固めた。本市の取り組みは。
答弁② 本市の「学校への理不尽な要求、抗議」の

実態は昨年度、小中学校あわせて98件であり、議員提案の「保護者の要求への専門家チームによる対応について」は、国の動向などもみて検討したい。

質問③ 中国産食材から農薬が検出されたが子どもたちの学校給食への影響は。

答弁③ 当面の間できる限り中国産食材の使用をひかえ、国内産などを使用するなど慎重に対応したい。

質問④ 搬送体制や救急搬送トリアージの状況は。

答弁④ 平成18年中で6,552人で、市内二次救急病院への収容は5,120人で収容率は85%。市内病院全体での受け入れは、6,023人で、収容率は91.9%。なお、市内で、いわゆる「たらいまわし」事例はなかった。トリアージは現時点では困難な状況である。